

令和5年度 電力利用効率化講演会を開催しました

省エネルギー月間行事の一環として、省エネルギー及び電力有効活用の啓発・推進を目的とした講演会を、九州電力株式会社と共催で開催いたしました。

企業等の省エネルギー改善事例や主要メーカーの省エネルギー製品・システムを紹介する講演を実施いたしました。視聴者のご都合に合わせて何度でも視聴が可能と好評をいただいていることから、今年度もWeb形式で実施いたしました。

期間を通じて約1,500件のアクセスをいただき、「各講演が省エネ推進の参考になった」とのご感想をいただきました。

講演会の概要は以下のとおりです。

- 1 聴講期間 令和6年2月1日（木）～ 令和6年2月29日（木）
- 2 聴講方法 講演動画が視聴できるURLを電子メールで事務局より賛助会員に送付
（インターネット環境に接続されたPCがあれば、期間中はいつでも・何度でも視聴が可能）
- 3 講演者及び講演内容 下表のとおり

テーマ	講演者 「講演タイトル」	講演内容
省エネルギー 政策の動向	九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 「省エネルギー政策 の動向」	国内外のエネルギー情勢及び2050年カーボンニュートラルに向けた改正省エネ法のポイントを解説。 また、令和5年度補正予算案における省エネ支援策パッケージ（省エネ設備の更新支援、省エネ診断、住宅の省エネ化支援策）についても解説。
省エネルギー 改善事例紹介	霧島酒造(株) 「資源の有効利用による サツマイモ発電」	焼酎の生産工程で生じる焼酎粕等を「廃棄物」ではなく「資源」と捉え、持続可能な企業活動を目指す同社の取り組みを紹介。 焼酎粕や芋屑からバイオガス（CH ₄ ）を生成しバイオガス発電機や蒸気ボイラの燃料に使用、製造工程などからの排熱回収を行っている。また、更なる資源の有効活用から他の焼酎メーカーからの焼酎粕の受入といった、エネルギーコスト削減・脱炭素・地域貢献を両立する活動を展開。
	(一財)省エネルギーセンター 「省エネの進め方と省エネ診断事例」	省エネ推進におけるPDCAサイクルの重要性及び熱・電気各分野における代表的な省エネ技術を複数紹介。 また、エネルギー使用の改善提案を行う「省エネ最適化診断」について、診断の進め方を説明するとともに診断結果を活用したエネルギー使用改善事例を紹介。
省エネルギー 製品・システム紹介	東芝キャリア(株) 「循環加温ヒートポンプの活用による脱炭素事例のご紹介」	空気の熱を取り込んで効率的に熱を発生するヒートポンプの仕組みと優位性を解説し、循環加温により高温90℃の熱水を供給する同社製品を紹介。 また、製造工程における蒸気ボイラを循環加温ヒートポンプに置き換えることで、CO ₂ 排出量とエネルギーコストの削減を実現した導入事例を紹介。
	三菱電機エンジニアリング(株) 「ヒートポンプ機器による未利用熱の有効活用について」	ヒートポンプの仕組みと優位性を解説し、「水冷マルチエアコン」、「水熱源ヒートポンプ給湯機」、「空気熱源給湯機」を用いた地中熱・温泉熱・空調廃熱等の未利用熱を回収し利用するシステムを紹介。これらのシステムは、エネルギーの有効活用に加え、電気の需給バランス調整（太陽光発電の供給過多時における上げDR等）にも対応が可能。